

滋賀県議会議員

# 九里学レポート

Kunori Manabu Report

令和元年  
紅葉号  
VOL.37

くらしのご相談やご意見など FB(フェイスブック)日々更新中  
ございましたらお気軽に [www.9ri.jp](http://www.9ri.jp)

くのり学事務所へ

TEL077-558-1809/FAX077-558-0665



(事務所・自宅) 〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3 try@9ri.jp (発行責任者/九里学・編集責任者/米津 進)

明日を  
元気に！  
くクリーンで身近なひらかれた県政のため

地道に!! 頑張ら!!

日毎に秋の深まりが感じられる時節となりました。

住民の皆様にも身近な議員として日々仕事をさせていただいていることに心から感謝申し上げます。

『県政を県民によりそった身近でひらかれたもの』にするため今秋も地道に考動(考えて動く)します。

令和元年 紅葉の季に

滋賀県議会議員 九里 学



滋賀県民・栗東市民の方々と共に「ガンパロー」三唱(くのり学集会にて)

【学歴】  
金勝小・栗東中・栗東高・  
龍谷大学経営学部卒  
大阪大学人間科学部履修

【所属会派】  
チームしが県議団  
副代表

【滋賀県議会 所属委員会】  
・教育・文化スポーツ常任委員会委員  
・地方創生・しがブランド推進対策  
特別委員会委員長

【現職(ボランティア等)】  
・滋賀県ラグビーフットボール協会副会長  
・滋賀県スポーツ振興議員連盟副代表  
・滋賀県障害児者と父母の会連合会特別委員

・滋賀県難病対策・がん対策推進議員連盟委員  
・公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター賛助委員  
・栗東柔道スポーツ少年団育成会名誉会長  
・栗東市卓球協会会長・栗東都市整備株式会社相談役

・栗東音楽振興会(RISS)会長  
・CFR(Children First Run)会員  
・栗東国際交流協会(RIFA)会員  
・栗東消費生活研究会会員

## 九里学 5月~10月 レポート



栗東市戦没者追悼式にて不戦の誓いをたてる(9/7 なごやかセンター)



防火・防災対策の要である栗東市消防団の皆様にも  
県大会出場に向けて激励の言葉を述べさせていただき  
(6/2 JNA栗東市)



僕もラグビー経験者。県ラグビー協会副会長として今秋はウェールズやフィジー代表のワールドカップキャンプや  
近畿の小学・中学・高校・大学の大会が数多く県内で開催されるので目が離せません!ぜひ一緒にラグビーの秋を  
楽しみましょう!(9月~10月 皇子山総合競技場)



栗東市スポーツ少年団総合開会式で礼儀正しい  
子ども達から元気をいただく(6/9 市民体育館)



夏の高校野球!滋賀県代表近江高校の激励会に  
参加する(8/1 県庁玄関)



市内各地の敬老会にお招きいただき  
長寿のお祝いの言葉を述べさせていただき  
(8月~10月 栗東市二田)



定例会開会前の会派別知事政策協議会で新年度施策・予算について  
知事に直接訴え熱く議論する(6/3・9/12)



RD廃棄物処理現場で二次対策工事の  
説明を受ける(10/11 上砥山地先)



滋賀県の初代知事は栗東市金勝出身の方なんです!  
県庁本館正面庭園には、私が大学4年間アルバイトを  
した「服部酒店」の酒造元で初代民選知事、服部岩吉氏  
のレリーフがあります(9/27 県庁正門前)



県内の子ども達と共に「びわ湖ホール  
音楽会」へ出かけよう!!  
「にやんば先生」と一緒に参加する。  
若狭湖で「あまのこ」の歌を過す。  
(5・30)



「農を力に!!」オーガニック農業が県内  
一円に認知されるよう各地を巡り販路  
拡大に努めます!(9/24 県内の道の駅)



特別委員長として大分県へ行政調査。  
農産物の地域資源について学ぶ  
(10/17・18 大分農業文化公園)



RD廃棄物処理現場で二次対策工事の  
説明を受ける(10/11 上砥山地先)



JR栗東駅 大手原駅の駅立ちを早や  
14年目(レポート147号配布)を  
迎えます(11/17 栗東市)



「元氣な滋賀づくりへ」地方創生・しがブランド推進対策特別委員会  
委員長として二年間審議を進めます(9/6・10/9 県庁)



13目を迎える「東海道ほっこりまつり」で昔日の街道文化を  
偲ぶ(10/20 目川・岡地先)



「元氣な滋賀づくりへ」地方創生・しがブランド推進対策特別委員会  
委員長として二年間審議を進めます(9/6・10/9 県庁)

# 9月定例会議 一般質問(9月27日)

## くのり学 三日月知事・土木交通部長 健康医療福祉部長に質す

### 空き家対策について(抜粋)

【三日月知事・川浦土木交通部長に質す】

Q 空き家の課題は何か?

A 老朽化による倒壊など**防災上の問題**、不審者侵入など**防犯上の問題**、**景観悪化**、**地域イメージの低下**等の他、**地域コミュニティ弱体化**や**地域活力低下**にもつながり重要な課題です。中山間地など地域特性に応じ、発生予防や既存住宅の流通促進等、対応策を市町や関係団体と連携して実施していくことが必要だと考えています。

Q 県内19市町の行政官の隔たりに対し、県がリーダーシップをとり空き家問題に取り組むべきだ。所見を問う。

A 市町毎の取り組み状況や違いが顕在化しています。戸建て空き家**37,200戸**、売却賃貸目的のない空き家**28,800戸**のうち腐敗・破損があるものが**8,000戸**。悪影響を及ぼす空き家は**11市町で94件**今もあるのが県内の状況です。先進的取組や専門家派遣などにより少しでも空き家が減るよう対策を講じます。

Q 腐敗・破損がある『特定空き家』の現在の県内状況はどのようなものか。

A **19市町8,000戸**存在し、空き家のうち**4軒に1軒(27.8%)**が**特定空き家**です。周辺建造物や近隣状況・通行人に悪影響を及ぼすことのないよう早急に対策を講じなければなりません。

Q 空き家の安全性や修繕性の必要性を判断できる技術者の養成を急がなければならないと思うがどうか?

A 国では既存住宅調査状況技術者制度を創設し建物の状況調査を推進しており、本県は**352人が取得済み**ですが、ご指摘のように県としても更に養成に力をいれていきたいと思えます。

Q 流通・利活用する以外に空き家を減らし、もっとまちづくりに活かすための方策を考えるべきではないのか?

A 発生予防が空き家の大きな一因なので、住宅所有者の**ライフプランをしっかりと県が把握する**と共に後押しし、専門機関とのパイプ役になることが重要です。老人福祉施設や社会福祉協議会等と連携し、出前講



空き家対策を訴える九里学

座を通じ積極的に啓発を行い、不動産業者・司法書士等が開設される**空き家相談窓口の充実**にも努めます。

Q 増え続ける空き家対策に今後スピード感をもって真剣に取り組むべきだ。どうか?

A 地域毎に、発生状況や目指すべきまちづくりの姿は違うので、それぞれの特性に応じた対策が求められています。

将来的に世帯減少が見込まれる地域では発生抑制にむけた**啓発活動**に加え、**移住促進**や**福祉施設への転用**などの**対策**に尽力すべきだと考えます。

また、良好な住環境が形成されている地域は、既存住宅の状態や性能の評価に対し、**しっかり支援を行う**など、次世代に街をつないでいくための**利活用促進に力を注ぎたい**と思えます。

市町の方針に寄り添いつつ、専門家の紹介や派遣を行うなど、民間団体や関係機関とともに連携し、**空き家問題を解決しながら地域の活性化につなげていく対策を県として推し進めます**。

### 幼児教育・保育の無償化について(抜粋)

【三日月知事・川崎健康医療福祉部長に質す】

Q 無償化以前に県として優先して取り組むべき課題は何なのか?

A 増大する保育ニーズを踏まえれば、待機の解消(本年4月1日現在県内**459人**)や保育人材の確保(県内有効求人倍率が**全産業1.38倍**なのに**保育士は2.75倍と極めて高い**)に取り組む必要があり、無償化により一層課題が顕著になることが想定されるので重点的に取り組みます。

Q 広域的かつ専門的に市町の取り組みを支援する『待機児童対策協議会』の進捗状況はどのようになっているのか?

A 今年度は「保育人材の確保と質の向

上」「保育所等の広域利用推進」などを課題整理し、部会を設置しました。

とりわけ、保育人材確保部会では**プロジェクトチームを設置し、現場目線で実効性ある取り組み検討を行っています**。

Q 県内で現在何人保育士が不足しているのか?

A 配置基準上の保育士数から推計すると**85人必要**となります。

Q 保育士確保にむけ実効性ある新たな施策・具体策をど真剣に示すべきだ。所見は?

A 今年度強化し、議員ご指摘の潜在保育士確保に関して「**保育士有資格者バンク登録制度**」を新たに導入します。

また、再就職にむけての情報発信に注力すると同時に、保育士の**実態調査**をし、**勤務環境含め現場の不安や希望を県としてしっかりと聞き**ます。

Q 保育士の処遇改善や配置基準の見直しは待ったなしだ。所見を問う。

A 全産業と比べ低額で現場からも保育士**給与改善を求め**る声は大きいです。

将来に希望をもち働き続けられるよう、処遇改善や保育士の**配置基準見直しについて国に強く要望**していきます。

Q 栗東市などの不交付団体や公立園の多い自治体の実状や財源負担の問題を県はどう受けとめているのか。何らかの対策をすべきではないのか?

A 全体的には、地方消費税増収分と地方交付税で必要な財源が確保されています。

不交付団体について無償化に必要な財源は、地方消費税増収分の活用が見込めると考えていますが、**当該市町から今後共にその実状を十分お聞きしてまいります**。

Q 無償化による格差拡大や低所得者への経済的負担がないようにすべきだと考えるが、県として具体的対策はあるのか?

A 給食費などの副食代の保護者負担はこれまでと変わりません。10月1日から年収約**360万円未満の世帯の全て**の子どもと、**一定要件を満たす第3子以降の子どもに免除対象が拡大**されました。

県としても「多子世帯子育て応援事業」



調査データを示し、子育て支援策を具体的に提起する九里学

を引き続き進めることで、**第3子以降の子どもの副食費を免除し、保護者負担の軽減**をしたいと思えます。

Q 認可外保育施設における「質の確保」について県として県内19市町含めしっかり指導監督すべきではないのか所見を問う。

A 県と大津市、彦根市、草津市、東近江市ではこれまで国の指導監督基準に基づき**認可外保育所の質が均一に保たれる**よう評価基準について協議してきました(残り**9市6町未実施**です)

また、今年度中に県所管の認可外保育施設に対し**教育・保育指導員を同行**し、立入調査を行い**保育内容充実に向けて指導助言**をしていきます。

Q インターナショナルスクールや森の幼稚園は無償化の対象外であり制度不備であると考える。これら施設を利用する子どもにも等しく無償化の対象となるよう県として対策を講じるべきではないのか?

A 県としても、こうした施設や学校からこれまで無償化にならないかと相談を受けています。認可外保育施設設置の可能性を探り、**現行制度の中で考え得る最大限の工夫対応**をしていきたいと思えます。

Q 『子育て環境日本一滋賀づくり』に向け、知事は今後どのような滋賀を目指し子育て支援施策に取り組まれるのか?

A 『子ども・子育て環境日本一の滋賀』目指し、生まれる前から自立していくまで、**切れ目のない子育て支援**にこれまでも取り組んできました。

本日、議員から大変重要な課題提起と様々な具体的提案をいただきました。

**施設の整備、保育人材の確保、保育の質の向上と確保。無償化に係る地方負担をどう考えるのか。無償化対象外の保育所や学校をどう扱うのか。**それぞれのご事情やご意向をしっかりと伺い、制度のすり合わせと同時に一緒に寄り添い、次の『**淡海子ども・若者プラン**』の重点施策に**今日の議員の提案を位置づけ進めていきたい**と考えます。

また、**児童虐待対応や子どもの貧困対策、子ども食堂**をはじめとする居場所づくりなどもしっかりと位置付けながら、『**誰一人取り残さない施策と予算づくり**』をし、私の1番目の視点に掲げさせていただいています**子ども施策充実に向け、具体的取り組みを進めたい**と思えます。ご提起ありがとうございました。

## 県内の空き家の4軒に1軒は老朽化!!

県内19市町に売却や賃貸等の目的のない空き家は約**28,000戸**あります。そのうち腐ったり、壊れたりしている部分があるものは**8,000戸**。なんと約**4軒に1軒**は老朽化している現状です。地域の安全を守り、資源を活かす方法を県と一緒に模索しています。

■県内の空き家とその腐朽・破損状況【平成30年度住宅・土地統計調査】(R1.10/1現在)					
市町名	住宅総数 A	空き家総数 B	劣腐朽破損数 C	空き家率 B/A	腐朽・破損率 C/B
大津市	158,080	18,680	3,670	11.8%	19.6%
彦根市	54,940	9,590	2,560	17.5%	26.7%
長浜市	49,440	7,290	1,750	14.7%	24.0%
近江八幡市	34,760	4,050	1,130	11.7%	27.9%
草津市	68,460	7,140	530	10.4%	7.4%
守山市	33,310	3,270	210	9.8%	6.4%
栗東市	27,660	2,480	160	9.0%	6.5%
甲賀市	37,060	4,520	880	12.2%	19.5%
野洲市	20,140	1,980	280	9.8%	14.1%
湖南市	25,570	4,150	640	16.2%	15.4%
高島市	22,840	4,800	650	21.0%	13.5%
東近江市	48,060	6,560	1,270	13.6%	19.4%
米原市	15,000	2,090	610	13.9%	29.2%
日野町	9,360	1,700	330	18.2%	19.4%
愛荘町	8,610	1,110	230	12.9%	20.7%
竜王町					
豊郷町	12,710	1,790	200	14.1%	11.2%
甲良町					
多賀町					
滋賀県	626,000	81,200	15,100	13.0%	18.6%

暮らしやすい地域づくりのためには、様々な課題を引き起こす空き家対策が必須です。くのり学は9月の定例会議での質問を通じ、県としての取り組みの方向性を県に訴えました。

## 滋賀の待機児童割合(※1) 全国ワースト2位

(※1) 県の総人口に占める待機児童割合 (H31.4現在)



出典：県内保育所等入所待機児童数 (H31.4.1現在)

滋賀県の待機児童数は全国11位。対して県の総人口に占める待機児童割合は沖繩県に次いで**全国ワースト2位**です。数字には表れにくいですが、**滋賀県の待機児童問題は全国2番目に深刻**なのです。くのり学は9月県議会で保育人材・施設の確保の必要性を訴えました。それに対し県は「**保育士の有資格バンク登録制度**」(※2)を本年度中に導入すると答弁。子育て支援が進みました。

出典：京都新聞2019.9.26 (※2) 県内に約1万人いるとされる「潜在保育士」にインターネット上で登録を呼びかけ、再就職を支援する制度